

参加者からの感想

発達障害について、あまり話を見聞きする場面がなかったので、たくさんを知ることが出来ました。

SNS の利用について考えさせられる内容でした。今後に活かしていきます。

子供への無償の愛。明日からの教師人生で生かしていきます。勇気をもらいました。ありがとうございます。

①発達障がいとは生まれつきであること②社会を巻き込んだゲームや SNS 利用について考えて行くべきであること③発達障がいと認められたのは、2013 年アメリカの論文からであること④薬によって変わることがあること⑤予告して伝えること⑥できることはすごいと認識して関わること⑦短く具体的に伝えること⑧15 分に一回息抜きをすること(コマーシャルの感覚)⑨座席は刺激の少ない前方にするとよいこと 10『あなたのことが心配です』と伝え続けること、を学ぶことができました。明日からの実践、家庭での過ごし方に生かします。講演会を開催してくださり、ありがとうございました。

角田先生の物腰が柔らかく印象的で、大変聞きやすいご講義でした。最前列でペンを取り熱心に教育へのヒントを得ようとする若者達もまた印象的でした。医療でも教育でも、現場の若い率直な声により反映されていく世の中であってほしいと思いました。

角田先生の地域包括の考え、治療と支援をより多くの目で見るといところが大変刺さりました。始めから終わりまで新しい学びでした。双方向のやりとりもおもしろかったです。ありがとうございました。

本日は角田先生をはじめ、大変貴重なお話を聞くことができました。地域と共生すること。依存症について皆で声を上げること。教育現場でも活かすことのできる密度の濃い時間でした。ありがとうございました。

医療者の立場からのお話をうかがうことができ、教育とは異なった視点から発達障害などを考える機会になりました。ありがとうございました。

人はみんなどこか一ついいものを持っていると思います。それがわかって、あげられるように自分もこころ広く持ちたいと思いました。 等